

# 令和2年度事業と 収入支出予算

一般  
勘定

45億4,862万円

介護  
勘定

4億3,774万円

北海道コンピュータ関連産業健康保険組合の令和2年度事業と収入支出予算(一般・介護)は第85回組合会において承認されました。

経済状況もやや足踏み状態が続いているなか、令和2年度の当健保組合の標準報酬月額や標準賞与額は伸びておらず、高齢者医療への納付金と医療費の高負担が続いており、経常収支で19,974千円の赤字となります。

令和2年度も前年度に引き続き法定準備金を繰り入れることで健康保険料率を9.8%に据え置くことができました。

この保険料収入の基礎となる年間被保険者数は10,350人、平均標準報酬月額は311,935円、賞与は平均1.97ヵ月で年間保険料は収入全体の95.5%となります。

主な支出では、皆さんが病院等にかかった時に支払われる医療費や出産育児一時金、傷病手当金等の保険給付費として21億348万円を計上、支出全体の46.2%となっており、高齢者医療制度に係る後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等は、19億6,315万円で実に43.2%を占めております。

疾病予防を中心とした保健事業費には、特定健診を含む人間ドックや生活習慣病予防健診、その後の特定保健指導の他、乳がん・子宮がん検診、VDT検診、インフルエンザ予防接種の補助等、2億1,019万円を計上しました。

介護勘定につきましては、当組合が負担する介護納付金は4億3,571万円となり、介護保険料の準備金から繰り入れ、令和2年度の介護保険料率は0.14%引き上げ1.74%といたしました。

## 第85回組合会

### 審議事項

- 1 令和2年度介護保険料率(案)について
- 2 令和2年度事業及び収入支出予算(案)について
- 3 令和2年度支出予算同一款内の項間の流用について
- 4 理事長専決事項について
- 5 適用事業所の脱退について

●議案1から5まで原案どおり書面により承認されました。

